

緑化という考えかた



温暖化対策のひとつとして、屋上緑化や緑のカーテンなどの緑化が注目されています。

屋上緑化は、おもにビル屋上のコンクリートに緑を敷きます。その効果は、室内体感温度で約2℃違い、緑のカーテンを組み合わせることでさらに温度が下がります。窓や屋上に直接熱が当たらないため室温が下がり、また見た目にも涼しく感じられます。そして、そのぶん冷房にかかる負荷が小さくなり、電気の使用量も減ります。

温度を下げる理由は、植物のはたらきにもあります。太陽の光が葉に当たると、蒸散作用により水蒸気が出ます。その水蒸気を空気に変えるときに使われるエネルギーが太陽エネルギーです。室内を暖めるはずだったエネルギーがそこで使われるので、そのぶん熱量が減るといしくみです。

豊島区では、道路脇の生け垣や植え込みなどの接道緑化や屋上緑化をする方に費用の一部を助成しています（※参照）。このような制度を活用し、まちの緑が広がりはじめています。

屋上緑化や緑のカーテンのような本格的な緑化以外にも、ベランダにプランターを置き、簡単にできる野菜を育てたり、鉢に植物を植えて置いてみたりなど、身近にできる緑化もあります。

地球と自分の健康のために、できることから緑化生活をはじめませんか。

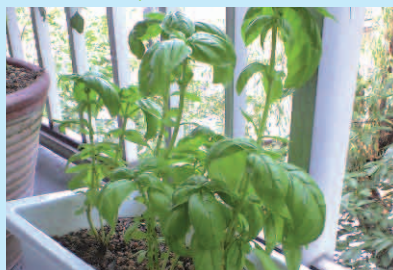
※「豊島区屋上緑化等助成金」「豊島区接道緑化助成金」
いずれも【問合せ先】土木部公園緑地課 03-3981-4908

屋上緑化



屋上に緑を植えることにより、太陽熱がコンクリートに蓄積するのを抑えます。それによって建物のなかも涼しくなり、快適に過ごせるようになります。

ベランダ菜園



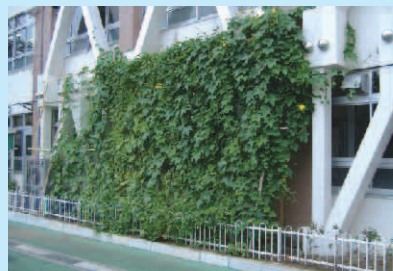
プランターひとつでできるので、スペースをとりません。8月～10月は水菜やラディッシュ、にんにくなどがよく育ちます。



肥料

ホームセンターなどで売っている培養土にはあらかじめ肥料が入っているので、購入した肥料は種や苗が育ってから使います。

緑のカーテン



取りつけた資材に植物がからむようになっています。太陽の光をさえぎることで、熱が室内にこもるのを防ぎます。冷房機を使わず、窓を開けているだけで、十分涼しくなります。

アロエ



アロエ（キダチアロエ）はすり傷などの炎症を抑えたり、また食べすぎや二日酔いによる胃もたれなどにも効くといわれています。緑化対策以外にも活躍してくれる植物を選ぶとよりお得です。

de エコでかけよう vol.1

みなさんは移動手段に何を利用していますか。車やバス、電車などを利用すれば必ずCO₂が排出されます。たとえば車を10分走らせたときに出るCO₂は約1150gで、テレビを約29時間つけっぱなしにしたことに相当します。そこで、CO₂を排出しない移動手段として自転車がおすすすめです。

自転車は環境に優しい乗り物というだけでなく、手軽にできる運動として、ダイエットにも効果

的です。生活のなかで無理なく続けられ、体への負担も軽く、普段運動をしない人でも安心です。

自転車用の走行距離計（トリップメーター）を使用すれば、1日の走行距離や時間を具体的な数値で知ることができるので、達成感を味わえます。

わたしたちと地球の環境を改善するために、自転車を利用する習慣をつけてみませんか。



水筒

保冷、保温に優れていて、いつでも冷たいまま、温かいままで飲めます。水筒は何度も繰り返し使えるのでゴミが出ません。デザイン性が高いものや軽量化されているものもあり、持ち歩きやすくなっています。



エコバッグ

日本では年間1人当たり約300枚のレジ袋を消費しています。これを燃やしたときに排出されるCO₂は約30kgです。レジ袋をもらわずにエコバッグを使用することで、CO₂を大幅に削減することができます。

タオルハンカチ

外出先で手を洗ったときにペーパータオルや温風乾燥機などを使う必要がないため、ゴミが出ず、電気も消費しません。何度も繰り返し使用することができ、古くなったら雑巾として再利用することもできます。